

Interop Tokyo/DSJ2025が同時開催 ビジネス活用のトレンドを探る

インターネット技術の総合イベント「Interop Tokyo 2025」および、デジタルサイネージ業界国内最大級のイベント「デジタルサイネージジャパン2025 (DSJ2025)」が、6月11〜13日に千葉市美浜区の幕張メッセで同時開催される。最先端の技術・ソリューション・サービスが一堂に会し、技術動向とビジネス活用のトレンドを展示会場でのデモンストレーションや、識者・専門家による講演・セミナーを通して探る機会となる。

インターネットの新たな可能性

「Interop Tokyo 2025」では、『社会に浸透するAIとインターネット』をテーマに、第一線で活躍する研究者・大学、企業によるセッションなどを通じて宇宙に広がるインターネット市場について共有する。また、企業、スタートアップ企業、研究機関による幅広い展示では、宇宙におけるデジタルインフラの未来をけん引する最先端技術やプロトタイプ、そして各社/団体における現状の課題を明らかにするとともに、インターネット技術がもたらす新たな可能性に注目し、第一線で活躍する研究者・大学、企業によるセッションなどを通じて宇宙に広がるインターネット市場について共有する。

特別企画「Internet x Space Summit ―宇宙に広がるデジタルインフラを、ビジネスチャンスに―」では、宇宙空間の通信における現状の課題を明らかにするとともに、インターネット技術がもたらす新たな可能性に注目し、第一線で活躍する研究者・大学、企業によるセッションなどを通じて宇宙に広がるインターネット市場について共有する。



Interop Tokyo 2025は「社会に浸透するAIとインターネット」をテーマに開催 (写真は昨年の会場の様子)

アの近未来をインターネット・IP側から再定義する「InternetXMedia Summit」や、各大学研究室・各種教育機関などが研究成果を展示する「Academic Innovation」などがある。

恒例の「Interopカンファレンス」(参加有料)では、無料来場できる展示や基調講演・セミナーでは語られない、より深い情報共有の場として開催する。

◆Show Netを実施
Interop Tokyoでは、会場内に構築されるこのネットワークは、出展社から提供された約2000の製品・サービスと、約700人ものエンジニアらが幕張メッセに集結して構築される。幕張メッセの会場全体をインターネットに接続している実験ネットワークでありながら、各種の相互接続実証や実験・試行を実施するという巨大プロジェクトであり、会期中はShow Netの最新情報がSNSで発信される。

広がるデジタルサイネージ市場

「DSJ2025」は、街中のメディアとして多様な役割を果たす「デジタルサイネージ」にフォーカスし、デジタルサイネージの最新技術やソリューション、その活用方法を展示や講演・セミナーで訴求する。デジタルサイネージ産業の課題解決と新市場の創出を支援する。

「DSJ2025」は、街中のメディアとして多様な役割を果たす「デジタルサイネージ」にフォーカスし、デジタルサイネージの最新技術やソリューション、その活用方法を展示や講演・セミナーで訴求する。デジタルサイネージ産業の課題解決と新市場の創出を支援する。



DSJ2025は、デジタルサイネージ市場の動向を捉える場となる (写真は昨年の展示の様子)

12時20分〜13時)では、2023年秋に米国・ラスベガスに建設された世界最大級のドームシアター「Sphere」について、空間映像演出を担当したクリエイティブディレクターが解説する。

また、専門セミナーとして、『40分で早わかり。デジタルサイネージレポート』(12月14時15分〜14時55分)などを開く。

基礎講演『インターネット空間プロダクション最前線・VU2クリエイティブディレクターと語る』(13日/12時20分〜13時)では、2023年秋に米国・ラスベガスに建設された世界最大級のドームシアター「Sphere」について、空間映像演出を担当したクリエイティブディレクターが解説する。

【開催概要】

【会場】▽展示会/展示会場内セミナー/専門セミナー/幕張メッセ・国際展示場(展示ホール4-8)▽基調講演/国際会議場2階/Interop Tokyoカンファレンス/国際会議場1階

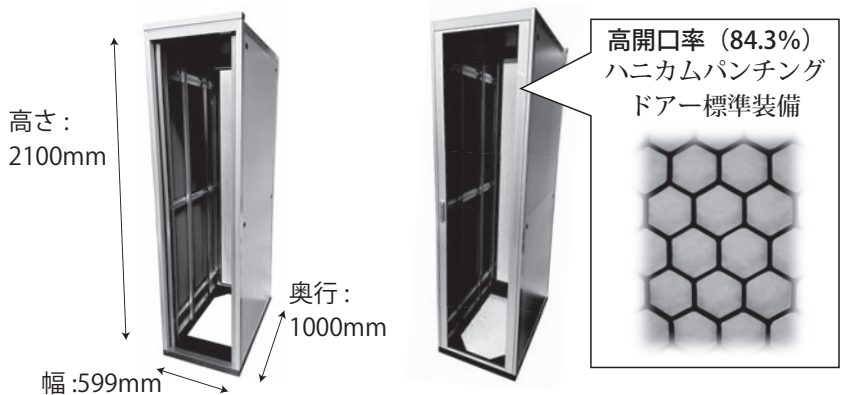
【日時】6月11〜13日/10〜18時(13日は17時30分開始(11日のみ9時15分開始))

【参加費】無料/オンライン登録制(カンファレンスは有料、別途登録が必要)

【公式サイト】www.interop.jp/

AV-IT RACK NOW AVIT Series

-AV と IT が融合する新放送設備にも対応-



放送と情報通信の融合しつつあるこの業界に最適な
高い次元のパフォーマンスを実現した高性能アルミラック

【ビニールカーテン 取付用ブラケット】 ラック前面天井部にはビニールカーテンブラケットが設定されています。	【ヒートシャッター】 ラック前面側ラックマウント部・ラック内部の上面・底面部にヒートシャッターを装備。冷気吸気効率の向上にも繋がります。	【天井通線用開口 (パネル付き)】 ラック背面天井部には通線用の開口2箇所設定。開口を塞いでおくパネルもあります。
---	---	---

あらゆるソリューション設備 (映像・音響・情報・医療・教育) の筐体開発・設計・販売・施工
NICCABI 〒211-0051 川崎市中原区宮内 2-5-8
TEL:044-766-2111 URL:http://www.niccabi.co.jp
ニッキャビ株式会社 FAX:044-777-9000 E-Mail:niccabi@niccabi.co.jp



手間のかかる サイネージ運用業務

アウトソーシング してみませんか？



ご利用中のシステムそのままで引き受けます

編成管理 意匠審査 素材変換・登録 放映遠隔監視

受託面数 **14,000** 以上の実績
※2025 年 5 月時点

**PLAT
WORKS**
株式会社プラットフォーム

お気軽にお問い合わせください

TEL 050-3538-1820

sales@plat.works

https://plat.works

〒135-0016

東京都江東区東陽7-5-8 東陽町MLプラザ2階



Interop 25 Tokyo DSJ 2025 特集



サイネージごとに異なるシステムで登録作業をする（東京・東陽町のプラットフォーム社内）

放送や配信の運用業務代行を手掛けるプラットフォーム社は、デジタルサイネージの運用代行も全

国1万4000面以上を数えるまでに成長した。状況の監視だけでなく、広告の表示可否を判断する「意匠審査」が、同社コンテンツのチェックやの業務としてサイネージシステムへの登録、配信事業者から注目されている。

プラットフォーム デジタルサイネージ運用代行 広告の表示可否の判断も

プラットフォーム

ジャパンマテリアル サイネージを自動切り替え 人や物体との距離を検知

ジャパンマテリアルは「DSJ2025」で、新製品を主力に多様な製品を披露する。「LiDARセンサー」は、人や物体との距離を検知し、複数の仮想2Dゾーンの距離に応じてサイネージを自動で切り替える。展示会場では、特定のエリアの上に立つとサイネージが切り替わるデモを実施。会場では他にも「重量」を検知してサイネージをコ



LiDARセンサー

「Bright Sign」など、さまざまなインタラクティブサイネージソリューションを提案する。Bright Sign 対応「Bright Sign tAI」は、検知した人数をテキストで表示できるセンサー。ディスプレイ付近に設置されたカメラが人の視線を検知し、自動的に人数をカウントする。Bright Sign 対応データアナリティクス「SENSEMI」は、ログデータ収集に特化したCMS。今回の展示会ではRFIDデモキット

という。

地上波を含めた放送局から依頼されるテレビスポットCMや通販番組などの映像審査は年間約5000本で、同社ではその蓄積したナレッジを、公共空間で表示される屋外広告の審査にも応用している。「DSJ2025」では、展示と専門セミナーを通じて、同社の運用代行体制の強みをアピールする。

同社の曾山佳亮オペレーション統括部門長は「広告を収益源としたいサイネージ事業者にとって、広告市場の拡大や広告の多様化は歓迎すべき事実だが、スマートフォンで手軽に撮影され、拡散される現代にあつてはその副作用も大きく、炎上などで媒体価値を棄損しないためにも広告の事

ニッキャビ AIデータセンター向け サーバーラックを提案

ニッキャビは、「Interop Tokyo



AIRシリーズ

2025」で初出展となる新型サーバーラック「AIRシリーズ」を、GPUサーバー搭載を想定したAIデータセンター向けの最適なサーバーラックとして提案する。ドアは高排熱性能を実現。開口率84・3%ハニカムパンチングメタルを採用し、180度開放が可能。連結時、隣接ラックに干渉しない。高強度に確認できる。

かつ高いセキュリティを実現する。また、高負荷サーバー向けの冷却効率と省スペース性を両立するADHxシリーズ「Active Rear Door Heat Exchangers」を搭載。展示ブースでは、AIRラックの背面ドアに取り付け、実運用を想定した展示により、導入後のイメージを具体的に確認できる。

その他、空調の省エネを実現する「静電気除去シートCONTINUED WM」など、幅広い製品群を通じて最新ソリューションを提案する。

排熱効率化ソリューション「モジュール式空調アシストシステム」は、ラックの周辺の冷気暖気を豊富なオプションで分離し冷却効率を最大限に引き上げる。ラックを中心として、ケーブルマネージャー、アイルシャッター、スライドドア等が全てユニット化されているため、拡張性にも長け、ユーザーの要望のプランに合わせて最適な提案が可能。

前の審査は今後より重要になる」と語る。同社では、サイクルの早い広告をタイムリーに

表示させるには、円滑な意匠審査業務と登録配信作業の連携が求められるとしている。

種設備が活用されており、InteropのSHOW

のセンサーが反応した数 x S902」は、操作をカウントし、データをクラウド化するデモを披露する。画面合成機能付き4K HDMIShimlessマルチビューイッチャー「GeoBo

会場全体のICTインフラを担っているSHOWNETへの支援も重要な役割になっている。コフネットワークや光伝送、WiFiとMedia Over IPの領域で、業界をリードしているファウエイの各種設備が活用されており、InteropのSHOW

「SHOWNET」と連携
会場内で各種通信設備を活用
ファウエイジャパン
会場全体のICTインフラを担っているSHOWNETへの支援も重要な役割になっている。コフネットワークや光伝送、WiFiとMedia Over IPの領域で、業界をリードしているファウエイの各種設備が活用されており、InteropのSHOW

ihse. Draco Tera KVMシリーズ KVM & Beyond

日本国内放送局様で350システムを超える豊富な採用実績
圧倒的な安定性を誇る非IP-KVM

- 非IPの独自プロトコルにより、大型システムでもトラフィックに影響されない安定運用
- Draco IP-CONシリーズ / Draco IP-Gatewayにより、IPネットワークとの接続も可能
- システムの冗長化やバックアップシステムの構築により、重篤なトラブルを回避
- コンソール（オペレータ）ごとに設定できる豊富なアクセス権限メニュー
- APIを使った外部制御に対応
統合コントロールシステムによる制御、運用が可能
- スイッチに接続するだけでKVMエクステンダーを自動認識
ネットワークの設定などは不要



Interop Tokyo ホール7 ブース7J14

2025.6.11(水) - 13(金) 10:00 - 18:00
(最終日のみ17:00終了)



伊藤忠ケーブルシステム株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田3-20-14 高輪パークタワー TEL.03-6277-1824

IHSE製品の詳細は下記URLかQRコードよりご覧いただけます。
<https://ihse.jp>



Interop 25 Tokyo DSJ 2025 特集

伊藤忠ケーブルシステム 非IP-KVM「IHSE」主力に セキュアなシステム展示

伊藤忠ケーブルシステムは「Interop Tokyo 2025」で「High Secured Next Generation Control Room」次世代統合コントロールシステム』を展示ブースのテーマとし、非IP-KVM「IHSE」を中心としたJPEG XS対応低帯域高画質モデル、IHSEの特徴をリモートでも生かせるPCベースのIP Gatewayなど、操作性と画質の良さをそのま

まに、サイバーセキュリティ性の高い新たな製品を展示する。

また、世界の防衛市場で実績を持ち、米国防政府のセキュアKVMコンパインナーも参考出品する。価値制度であるNIAAP



IHSE JPEG XS対応エクステンダー

品を展示する。また、世界の防衛市場で実績を持ち、米国防政府のセキュアKVMコンパインナーも参考出品する。価値制度であるNIAAP



VW3620

このほかに、AIサーバーやデータセンタールなどの電源ニーズに三対応「PG98330」、多対多KVMスイッチ「KG0032」、4K対応HDMIビデオウォールプロセッサ「VW3620」などを展示する。

「DSJ2025」で、高性能メディアプレーヤー「HIVE」、マルチタッチパネルディスプレイ「DISPLAX」をメインに出品する。

開発した超高精細マイクロLED・8ミリのピッチ「VENTANA」、自社ブランド「ARKLED」では、MIP、COB1・2ミリの2種類のLEDを展示する。

エヌジーシー(NGC) Sデータ保護プラットフォーム「Interprot OLM「Keepit Tokyo 2025」に(キーピット)を披露する。北米、ヨーロッパを中心に急成長を遂げているKeepit社が提供する、次世代Saas Microsoft 3

アークベンチャーズ 高性能のメディアプレーヤーや タッチパネルディスプレイ展示



マルチタッチパネルディスプレイ「DISPLAX」

フェースを備える。既存メディアプレーヤーとメディアサーバーの中間帯をターゲットとしている。マルチタッチパネルディスプレイは、DISPLAX社の「TILE」を壁面全面とテーブルのような使い方で設置する。最大100点マルチタッチ可能で、ベゼル6ミリの反応速度5ミリのディスプレイになっている。

サードウェーブ ローカルAIを実演 多様な業務アプリと連携

「Interprot OLM」に初出展する。会場では、オープンソースを活用し、同社が独自に開発したローカルAI「Aviary」(アヴィアリ)を搭載したAIサービスを実演する。「Aviary」は、ローカル環境で稼働可能な大規模言語モデル(LLM)であり、APIや

エヌジーシー 次世代Saasデータ保護 プラットフォーム初披露

アクセス権限の管理、誤削除やランサムウェア対策、データのバックアップとリストアなどは、ユーザーが責任をもって対応しなければならぬ。Keepitは、パブリッククラウドベンダーに提供されない独自のクラウドサービスでは、共有責任モデルにより、ユーザーデータの保護、アプリケーションを保護し、

ATENジャパン ネットワーク運用効率化 最新ソリューション提案

「Interprot OLM」に初出展し、データセンタールやネットワーク運用現場における、電源管理の効率化、IT機器のリモート操作、映像信号の切り替え・分配といった課題を解決する、最新ソリ

「Interprot OLM」に初出展し、データセンタールやネットワーク運用現場における、電源管理の効率化、IT機器のリモート操作、映像信号の切り替え・分配といった課題を解決する、最新ソリ

思い通りのデジタルサイネージを実現

環境に合わせて選べる・組み合わせて広がる「BrightSign エコシステム」

トップシェアを誇るサイネージプレーヤー「BrightSign」に、CMS やインタラクティブセンサーなどの周辺機器を自由に組み合わせて、あらゆるシーンに最適なデジタルサイネージを、簡単・柔軟に構築・運用できます。すぐにサイネージを始められる BrightSign を内蔵したディスプレイ各種もラインナップ。

BrightSign®
サイネージプレーヤー (STB)

8K4K 対応・同期再生・HTML5 対応

bluefin MOKA
BrightSign 内蔵ディスプレイ

設置が簡単なオールインワンモデル

neXmosphere
elements for experience
センサーソリューション

人感・RFID・ピックアップなど各種センサー

NOWSIGNAGE SENSMI
CMS | データアナリティクス

遠隔配信・データ無制限・視覚化されたログ分析

デジタルサイネージの始め方、わかりやすく解説！



「興味はあるけど、何から始めたらいいかわからない…」機材の選び方から設置のコツまで、実例を交えて丁寧に動画でご紹介します。店舗・施設の集客アップにつながるデジタルサイネージ、この機会に始めてみませんか？

▶YouTube で今すぐチェック！

お問合せ先



ジャパンマテリアル株式会社
グラフィックスソリューション事業部

E-mail : sales-it01@j-material.jp
URL : https://jimgs.jp/

※記載されている商品名等は各社の商標または登録商標です。

BrightSign®